

# 下肢静脈瘤外来

## 下肢静脈瘤とは？

足（＝下肢）の血管がでこぼこと大きく浮き出ている状態を下肢静脈瘤といいます。静脈の拡張と逆流（弁不全）が原因であり、たいていは曲がりくねっていて、大きさ、色などはさまざまです。



## 症状は？

なんら症状のない人もいますが、たいていは足が重い、腫れる、だるい、痛いなどの症状がよく出ます。こむら返り、湿疹、色素沈着、潰瘍なども認められるようになります。

## 治療は？

症状の有無、患者さんの希望によって適切な治療法を選択します。

- ・弾性ストッキング 有症状の方にまずお勧めします。すぐ始められますが、着脱にやや負担を要し、夏は暑いといった難点もあります。
- ・硬化療法 静脈に血管の壁をこわす薬（硬化剤）を注入し、圧迫して内腔をつぶしてしまう方法です。入院の必要はありません。逆流のもとになる静脈の結紮を併用することもあります。
- ・ストリッピング手術 逆流の原因となっている静脈を引き抜いてしまう方法です。専用のワイヤーに静脈をくくりつけて、ワイヤーごと静脈を翻転させ、引き抜きます。根本的な治療が可能です。短期間の入院が必要ですが手術の翌日より歩行していただけます。

下記の写真は、治療を進めるごとに静脈瘤が縮小していく過程を示しています。



当院では、視診、触診などの後、超音波検査などの非侵襲的な検査（痛みのない検査）を行って病態を把握した後、症状の有無や患者さんの希望に沿って治療法を選択しています。

足に血管が浮いているがどの診療科にかかったらいいかわからない、足がむくみ、だるいなどお困りの点がございましたら、お気軽に外科外来スタッフにお尋ねください。

下肢静脈瘤外来 毎週水曜日 午後2時から（予約制）  
出雲市立総合医療センター外科 下肢静脈瘤外来  
Tel0853-63-5111